

せんそう じだい 戦争のあった時代

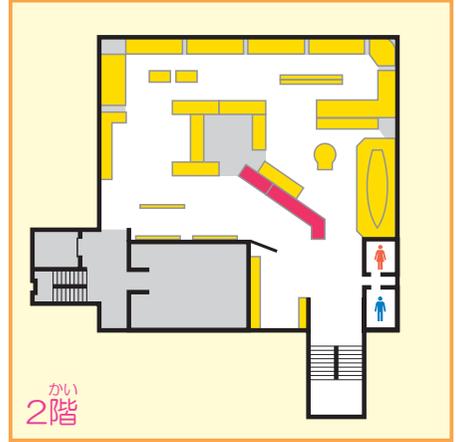
(コーナーの名まえ)

この場所で見られます

● 昭和の暮らし

せんぜん ひらつか たいほう かやく かいぐん かやくしょう
戦前の平塚には、大砲の火薬をつくる海軍火薬 廠
など、軍隊を支える工場がいくつもありました。
しょうわ ねん (1941 ねん) にアメリカとのせんそう
昭和16年(1941年)にアメリカとの戦争をはじめ
ると、都会の子どもが地方に疎開したり、中学生が
こうしょう はたら 工場で働くなど、子どもたちのくらしも変わって
きました。

しょうわ ねん ねん がつ にち よる ひらつか
昭和20年(1945年)7月16日の夜、平塚は132
き ビー ばくげき き こうしゅう まんほんいじょう
機のB29爆撃機による空襲をうけ、44万本以上
の焼い弾が町におとされ、300 人
しょうわ ねん ねん がつ にち よる ひらつか
の焼い弾が町におとされ、300人
いじょう ひと
以上の人がなくなりました。



おとなたちは
だんだん
どんどん戦いに
かりだされて、
ちゅうがくせい
中学生まで
かやくこうじょう はたら
火薬工場で働いたんだ。



だんだん
ものが不足して
生活も
不自由に
なったのね



火薬廠門柱札
かやくこうじょうもんちゅうさ

せんそう
この戦争で、
おおぜいの人がなくなり、
いえ
家や、だいじなものを
うしなったんだ。
くろく
苦しくて、
かな
悲しい思いをしたのに
まだ世界のどこかで
せんそう
戦争はおきている。
なぜなんだろう。



E46集束弾とM69焼夷弾
しょう だん
焼夷弾

ひらつか
平塚でくらすわたしたちは
かな
悲しい思いをした人たちの
ためにも
へいわ
平和のたいせつさを
つた
伝えていかなければ
ならないのね



ミッション 16

ひらつか しがいち しょう だん みつど てんじつ あか しめ
平塚の市街地におとされた焼夷弾の密度が、展示室のゆかに赤いシールで示され
ています。あなたが10歩、ふつうに歩くあいだに、何個の焼夷弾にあたってしま
うか、数えてみましょう。